令和５年度第１回 支えあいのまちづくり協議体（月島地域）実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体（月島地域）」の令和５年度第１回目を、月島地域で開催しました。

１ 実施日

令和5年５月１１日（木）14:00～15:30

２ 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター １１名

３ 内容

・各メンバー近況報告、自己紹介
・前回の振り返り
・意見交換：①「集まれ！スマサポまつり」実施地区の選定について、
②広報紙『となりぐみ』の最終確認について
③今後の取り組みについて

４ 出席者近況報告

地域の様子や高齢者の現状について、各々から報告を行った。

- ✓ 通いの場に来ない方がおり、知り合いの方から入院しているとの情報があった。
気温差が大きく体調を崩しやすいため、自律神経が乱れがちになり高齢者にはきついのではないか。
- ✓ コロナが明けて活動できるようになり、体力がない方が急に動きはじめたりすることで転倒したり、呼吸の苦しさ、心臓等の体調の悪化により高齢者の入院が増えてきている印象がある。
- ✓ 勝どき地区はビル風が強く、風に煽られて骨折する方が多い。
- ✓ 部屋での面会が再開したことで利用者や家族の表情がとにかく明るくなり、食欲や体の動きにもいい影響が出ており、改めて面会の大切さと家族との絆の尊さを感じた。
- ✓ 月島地区と比べて勝どき地区はマンションが多く、一人暮らしや認知症で困っている高齢者の相談が多い印象。コロナが明けつつあり、葬式は身の回りの安全を確保しながら前の形式に戻りつつある。
- ✓ 会社の地域活動として川柳をもとに地元を好きになってもらう目的でまちあるきを実施し、若い人も含め高齢者等多くの方が参加した。身の回りにあるが気づかなかったものを知ることでより地域を好きになれた。
- ✓ 老人会のバス旅行に参加すると、以前は杖だけだったが車椅子が必要な人が増えた印象だった。
- ✓ 85 歳独居の近所の方が家で転倒して頸椎を骨折してしまったが、困った時に頼りにされ、地域みんなで支え合っていると感じた。毎日の朝の声掛けで気にし合っている地域だと感じる。
- ✓ 地域活動が活発になってきて地域での交流を求めており、コロナも収束に向かいつつあると感じる。
- ✓ 高齢者向けにスマホの使い方を教えるボランティア活動を行っているが、高齢者の中にはスマホに関してのレベルが高い人もいるため、高度すぎると責任がとれず、教えるのに苦慮して

いる。
- ✓ 同じマンションに住む 80 代の高齢夫婦が気になっている。ラジオ体操をやっており会うたびに元気かどうか声掛けをしているが、精神的には気力がないように感じる。どうやって励ましたらよいかわからない。
- ✓ マスクの着用が個人の判断に委ねられるようになり、今までは 10 人に 1 人がマスクを着用していなかったが、5 人に 1 人くらいに変わった印象がある。

5 意見交換

（1）「集まれ!スマサポまつり」実施地区の選定について

前回の協議を踏まえ、勝どき1丁目アパート 1 号棟自治会での開催と併せて、広報紙「となりぐみ」での公募を行い、他の地区での開催も検討していくことを改めて共有した。

（2）広報紙『となりぐみ』の最終確認について

- ✓ 江戸文字に味が出ていて、普通のゴシックよりも高齢者向けで良い。
- ✓ パッと見たときに地域の高齢者が似顔絵や題字を描いてくれたことがわかるようにクレジットを入れるのはどうか。（似顔絵：絵画を楽しむ会、題字（江戸文字）：江口氏のように）
- ✓ 発行日を入れ、ナンバリングする。
- ✓ 次号以降で地域の高齢者が持つ特技の特集や、協議体編成、活動報告、メンバーそれぞれの活動内容を紹介してはどうか。
- ✓ 広く活動を周知するため、協議体メンバー各々でも配布してほしい。
  →メンバーそれぞれに必要部数の確認を行った。

（3）今後の取り組みについて

前回の協議体で、コーディネーターより晴海のまち歩きの実施について唐突に提案を行ってしまったが、今まで同様、目的に立ち返り、高齢者を取り巻く課題に基づいて取り組みを検討していきたいことを説明した。

その上で…

【取り組み】 晴海地区のまち歩き実施とマップ作成

【理由】 まちのことは地域の高齢者が一番詳しいが、晴海地区は新興住宅地であり、選手村のあたりは未だ入居が開始していない。再開発真っ只中であり、まだまだ知られていないスポットも多いことから住民の関心が高いため。

【目的】 ①晴海の魅力や地域の資源を紹介し、外出意欲を向上させる。
②外出による体力づくりやフレイル予防。

【対象】 引きこもりがちな高齢者、アクティブシニア

【実施時期】 はるみらい(ほっとプラザはるみ跡地)が開設する 10 月頃を目安にまち歩きを実施。

【その他】・佃などから出向くことも想定し、マップの作成にあたっては高齢者向けのアクセス情報(バスルートなど)を案内する。
・お買い物情報(スーパーのお得情報)などを掲載し、高齢者が外に足が向くような仕掛けを検討する。
・次回協議体までに、マップ作成に協力してくれそうな人や企業・団体などをそれぞれが検討する。

6 次回の予定

次回の協議体は 7～8 月に開催予定。まち歩きについて具体的な場所の選定や、マップ作成の協力者の募集等について協議を行う。